



恵比寿神社

鎮座地 東京都渋谷区恵比寿西一―一―一



ご鎮座の由来

恵比寿神社は渋谷区恵比寿地区の産土うぶすなの神です。古伝によると、景行天皇の時代（約二千年前）、古代の英雄・日本武尊ヤマトタケルノミコトが東国平定の折に、この恵比寿の地に憩い、神世七代の中の六天神を祭ったと伝えられています。

ヤマトタケルノ尊は『古事記』『日本書紀』によると、大和（奈良県）より、焼津、走水より、海路をとり、千葉に至りました。海で暴風雨のため遭難しかけた時、妃のオトタチバナヒメノ命が海中に身を投げて、海神の怒りを鎮めたという伝説は広く知られるところです。

そして、ヤマトタケルノ尊は大和への帰り道に関東をながめ、オトタチバナヒメを思い、三度嘆息して、「吾妻あづまはや」といわれました。これが関東あづまの謂れだとされています。

その後、土地の民が尊の徳を称え、代々、天神を祭祀しました。これが恵比寿神社の前身である「天津神社あまつ」で、第六天とも呼ばれていました。ご神体は六角形の面にそれぞれの面に六柱の神々の御名が彫られた石柱で、現在も、恵比寿神社に祭られています。

昭和三四年、さらなる街の発展を願い、恵比寿コトシロヌシノミコト（古代はこの辺りが海岸線でした）という地名に因んで、鯛を抱かれた福德の神《えびす様》である事代主命コトシロヌシノミコトを合祀して恵比寿神社と改称しました。その際、えびす様の総本社である西宮神社（兵庫県神戸市）からご神像のミタマ入れをしていただきました。

現在、恵比寿神社は恵比寿地区の発展とともに、ますますご神威が輝いております。

ご祭神

クニトコタチノカミ
国常立神

トヨクモヌノカミ
豊雲野神

ツノグイノカミ
角杙神

オホトノヂノカミ
意富斗能地神

イザナギノカミ
伊邪那岐神

イザナミノカミ
伊邪那美神

コトシロヌシノミコト
事代主命（えびす様）

日本の神話『古事記』では、神世七代の最初の神が国常立神クニトコタチノカミです。この神は国土の守護神（地球神）ともいべき神さまです。



豊雲野神はその次に生まれた神さまで、生命の源である水を地上に降らせる雲を司る神であり、生命を育む働きをされます。次の角杙神は植物が芽生える様をあらわしており、農業における杭の意味があります。雨によって植物の芽が出てくるわけです。また杙とは天の神が地上に降りるヒモロギ（依り代）をあらわしています。

神世七代の最後に登場し、日本の国土（大八島）や多くの神々をお生みになったのが、伊邪那岐神、伊邪那美神です。最後にお生みになったのが天照大神、月読命、須佐之男命です。この三神は特に貴い神々ということで、「三貴神」と呼ばれています。

事代主命は釣りざおを手にし、鯛を抱かれた福德田満の《えびす様》と日本人の中に広く信仰されています。漁業の祖神、海上の守護神と仰がれ、水産海運の御霊験の広いことは知られている通りです。

事代主命は出雲大社に鎮まる大国主神（だいくく様）の第一の御子神であり、父神とともに、国土の経営、産業福祉の道を拓かれました。古来、皇室を守護する八方位の神を「宮中八神」といいます。事代主命は宮中八神の御一柱として、尊崇きわめて篤い神さまでです。

また、コトシロヌシという神名は《事知主・言知主》の義であつて、叡知、誠（真言、真事）の守り神です。すべて世の中に起こるあらゆる事をわきまえ知らしめて、正しい道に就かしめる事の大元をつかさどります。いいかえると、人の世の日常の行為や行動を教え導く偉大な御神徳をたたえたものです。

古来、皇室を守護する八方位の神を「宮中八神」といいます。事代主命は宮中八神の御一柱として、崇めきわめて篤い神さまでです。

また、恵比寿神社のご祭神は龍体をもつてあらわれたこともあります。大自然の高級神として、人間にすばらしいご霊験をあらわす大龍神のいます神社でもあるのです。

ご 神 徳

家内安全、安産、

五穀豊穰、海上守護、

諸願成就、縁結び、

厄除け

古来、経済商業に福運を授けたまう神として知られます。ご霊験は広大で、さまざまな願望を聞き届け、叶えてくださいます。大神にお祈りするところはほとんど人間全般の事柄にわたります。これらの神々に祈念することによって、心に安らぎを得ることができま

神社三三知識

産土の神・鎮守さま

産土の神とは文字通り「産まれた土地」の守り神です。「産」は産湯、産声など、誕生に関係した言葉にその名残があります。産土の神はその土地に産まれた人間（産子）を生まれてから死ぬまでを見守り、守護してくださる神さまでです。いわば、私たちの一生の守り神であり、祈願・相談事などの《総受付役》です。

また、産土の神は祖霊を統括し、助け導く神さまでです。昔の日本人は祖霊や産土の神との深い結びつきを通して、生きている時はもちろん、死んでからの安心も得ていました。

○鎮守さま……現住所の守り神。仕事や商売を助けてくださる神さまでです。

○産土の神……産まれた土地の守り神。結婚、出産、家庭不和、精神的悩み、相続、身内のトラブルなどは、まず産土の神にお願いするとよいのです。

○氏神さま……氏族にとつての祖先神。

神事・年中行事

恵比寿神社では、次のような神事・年中行事を行っています。積極的に参加して、神さまのご神徳をいただきますよう。

一月一日 元旦祭

元旦に一年間のご加護を祈願するお祭りです。元旦は鎮守さま、または産土神社に参拝して、一年間のご加護を祈りましょう。

四月十九日・二十日 春季大祭

氏子崇敬者の安泰を祈願します。ガレッジセールを行ないます。春の花の販売をします。

十月十九日・二十日 秋季大祭（べったら市）

氏子崇敬者の安泰を祈願します。縁日にはべったら市で大いに賑わいます。屋台は一〇〇軒位です。

七～八万人位の人出がです。



恵比寿神社の御神霊

十二月三十一日 除夜祭

一年の終わりに当たり、一年間の無事安泰を感謝し、新しい年がすばらしい年になるように祈念します。甘酒を無料で差し上げております。

毎月 月例 祈願祭

二十日 午前十一時より
氏子崇敬者の安泰を祈願します。



役員記念撮影



秋季大祭の演芸

恵比寿神社までの交通



〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-11-1

電話03-3407-7534